

社会>公民的分野>(3) 私たちと政治>イ 民主政治と政治参加

衆議院議員総選挙シミュレーション〔太子町立中学校〕

⇒参考：指導略案
ワークシート

ねらい（つきたい力）

- 衆議院議員総選挙のシミュレーションを行い、選挙制度を理解する。
- 問題点やその改善のための方策を考え、政治参加に興味関心を持つ。

取り組みの概要

① 投票しよう

- ・ワークシートの「小選挙区立候補者名簿」から、投票により1名を選出する。（3選挙区）
- ・ワークシートの「比例代表名簿」から、政党を選んで投票する。
→ 選挙の原則を確認させ、選挙方法が2種類あることを理解させたい。

② 当選者を確定させよう

- ・小選挙区・比例代表の投票結果を開票する。
- ・比例代表の議席分配法（ドント方式）により、当選者を政党の獲得議席数で求める。
- ・小選挙区結果で当選者の得票数に対する落選者の得票数の割合（惜敗率）を計算し、復活当選があることを知る。
→ 小選挙区比例代表並列制を理解させたい。

③ シミュレーションを通して思ったことや考えたことを話し合おう

- ・問題に思ったことや、その問題を改善するためにはどうすればよいのかについて考えたことを、ワークシートに記入し、意見交換をする。
→ この選挙方法の長所・短所について、考察させたい。

工夫など

- 架空の「政党」や「候補者」の名称等を工夫して、生徒に親しみを持たせる。
- 比例代表制の候補者名簿の記載順を数名に1番をつけておき、惜敗率から当選者が決定されることに気付かせる。
- 生徒の中から「選挙管理委員」を決めて、投票作業や開票作業を手伝わせる。

授業を終えて

- 興味を持って衆議院議員総選挙の仕組みを知り、政治参加に関心を持たせることができた。
- 時間が限られているため、事前に選挙制度を理解しておくことが必要である。
- 1クラスの人数が限られているため、惜敗率をうまく出せない場合がある。